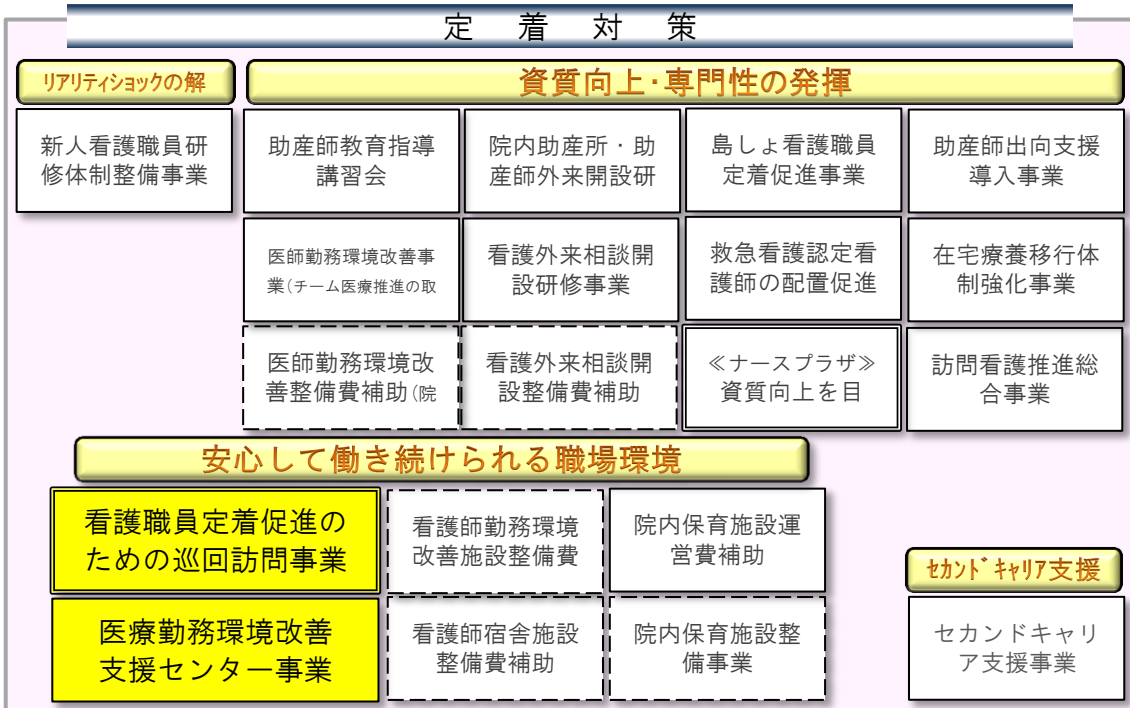


現状の定着対策



【支援病院が抱えている課題】

多くの病院で、看護管理者の組織マネジメント能力が不足している。

【病院の経営的課題】

◆「管理職層のマネジメント能力強化」を課題とする病院が9割以上である一方、課題解決に取り組んでいる病院は約5割にとどまっている。

◆今後強化したい教育テーマでは、「経営管理、組織マネジメント」が最も多い(49.8%)

≪第12回病院の経営課題等に関する調査結果報告(平成28年7月)(株)日本能率協会総合研究所≫



「東京都看護職員就業等実態調査」においては、看護管理者の抱える課題等に関する意識調査は実施していない。

⇒「東京都看護職員就業等実態調査」を補完するものとして、新たに「看護管理者の組織マネジメントに関する調査」を実施する。

調査概要

【調査対象】

都内病院の看護管理者(対象:654施設)

【調査内容(段階評価or点数制)】

質問項目を3要素(①環境②資質③意欲)に分類し、要因分析を行う。

【調査期間】平成29年2月3日(金)～2月15日(水)

【委託期間】平成29年1月12日(木)～3月31日(金)

看護管理者の組織マネジメント強化の方向性

- ①「環境」に関する支援 ⇒病院管理者への働きかけを強化
- ②「資質」に関する支援 ⇒看護管理者の必要な能力を獲得する機会を提供
- ③「意欲」に関する支援 ⇒看護管理者としての意欲向上の機会を提供

①環境

看護管理者を取り巻く職場環境や組織構造等について

②資質

看護管理者自身のマネジメント能力等について

③意欲

看護管理者のバーンアウト状況や仕事継続意思等について

病院の属性(規模や離職者数等)及び3要素の関連性を分析し、看護管理者の置かれている現状を明らかにする